

妄想劇場 いよいよ入籍。

2009年1月19日の帰り道、名古屋駅で梨華ちゃんと待ち合わせていた。

私：梨華ちゃん、お待たせ。

( ^▽^ ) : Ranくん、行こっ。

私と梨華ちゃんはJR在来線ホームに向かった。

今から行くのは名古屋市某区の区役所…。

某区役所の最寄り駅は各駅停車しか停まらないので、ここから普通電車で最寄り駅に向かう。

私、今日は普通電車に乗って行くよ。最寄り駅が普通電車しか停まらないんだ。

( ^▽^ ) : 分かった。

私と梨華ちゃんはその普通電車に乗り込んだ。

私：改めて誕生日おめでとう梨華ちゃん。

( ^▽^ ) : ありがとう、Ranくん。

私：そして、梨華ちゃんと出会って8年になるんだなあ。

( ^▽^ ) : そうだね、Ranくんと出会ってそんなにもなるのね。

私：更に、今日は梨華ちゃんと晴れて夫婦になる日なんだな。

( ^▽^ ) : そうなのよね。Ranくんがあたしの旦那さんになるんだよね。

電車は区役所の最寄り駅に着いた。

そして、2人は区役所に着いた。

窓口で婚姻届と届出に必要な書類を提出した。

提出して待つこと数分経過…。

区役所の職員：只今、婚姻届が受理されました。おめでとうございます。

私と梨華ちゃんの婚姻届は受理され、2人は晴れて夫婦になった。

( ^▽^ ) : 遂にあたし達夫婦になっちゃったね。

私：なっちゃったね。

2人は寄り添いながら家路に就いた。

( ^▽^ ) : Ranくん。

私：何だい、梨華ちゃん？

( ^▽^ ) : 大好きだよ。

私：私もさ。

( ^▽^ ) : えへへ……。 ( // ^▽^ ) ♪ えへへっ♪

梨華ちゃんは私の手をギュッと握りしめ、腕にしがみ付く。

その表情は凄く幸せそうだった。

端から見ると凄くラブラブな新婚夫婦の姿がありました。

2人は家に着いた。

( ^▽^ ): これからもよろしくね。

私 : よろしく。

( ^▽^ ): Ran くん、大好きよ。チュッ(^ 3 ^)-☆Chu!!

梨華ちゃんと私は過去最長のキスをした。

私 : 幸せだなあ。

私と梨華ちゃんの夫婦物語はまだまだ熱く続く。